

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年7月31日 No.16 国際会議まであと2日

青年・学生がワゴン車2台で広島へ

【茨城】30歳台までの青年・学生が代表全体の56%に!

一昨年の世界大会 広島の参加者数(41人)今年目標数(50人)を超え、54人の代表団になっている茨城県では、30歳台までの青年・学生参加者が30人と、全体の56%になっています。

青年・学生は8月3日の夜にワゴン車に分乗して水戸と土浦からそれぞれ出発、4~6日の世界大会に参加した後、宮島見学、とうろう流しなどを行い帰路につきます。

「核兵器をなくす青年交流集会~Ring! Link! ZERO(リング!リンク!ゼロ)~」の参加費は県原水協が負担して青年たちの参加を保障しています。



手作り横断幕で毎月街頭宣伝してきた大分の高校生グループ

【大分】3人の高校生が!

大分からは、昨年の長崎大会で高校生集会に参加し、全国の高校生の活動に刺激を受け、「何か行動を」と友人に呼びかけ12月から5月まで毎月1回、手作りの横断幕を掲げて街頭署名に取り組んだ高校生グループ(上写真)から3人が広島大会に参加します。全国の高校生との交流を楽しみにしているといいます。

原爆被害は戦後もずっと...

【千葉】ピース バス チバが被爆体験を聞くつどいひらく



千葉からバスで26人が参加する「ピース バス チバ」実行委員会は7月19日、被爆体験を聞くつどいを開催し、長崎で9歳の時に被爆した市原憲二郎さん(千葉県原爆被爆者の会「友愛会」事務局長)の話

を聞きました。市原さんは、被爆当時のようすとともに、上京してから結婚差別を受けたことなどをリアルに語りました。

話を聞いた公務員の青年は「原爆の被害という、そのときの被害がクローズアップされがちだけど、戦後も理不尽な差別を受けてきたんだと知った。できれば思い出したくも話したくもない話を、若いばかりの世代にしてくれたことをしっかり受け止めていきたい」と感想を話しました。

その後はみんなで街頭に出て折鶴宣伝を行いました。

自主目標6割超え、
代表4600名!
最後まで参加を、
呼びかけましょう!



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。